

恵みと知識において、成長しなさい

ペトロの手紙二 3 : 18



司祭 ヨハネ 井田 泉

2020年12月6日

降臨節第2主日

上野聖ヨハネ教会にて

ペテロが読者に呼びかけています。

「愛する人たち！」

今日の箇所の冒頭の 8 節と 14 節の 2 回。そして 3 章全体では 4 回もです。最初のこの手紙の読者だけではなく、わたしたちも呼びかけられています。

「愛する人たち！」

この手紙をとおしてイエスがわたしたちに呼びかけておられます。

今日ご一緒に耳を傾けたいのは最後の 18 節の言葉です。

「わたしたちの主、救い主イエス・キリストの恵みと知識において、成長しなさい。」 ペトロの手紙二 3:18

ペテロをとおして神さまがわたしたちに言われます。「**成長しなさい**」と。

わたしたちは成長することができるのです。今が、これまでが限界なのではありません。ひょっとしたらわたしたちは思ってきたかもしれません。所詮自分は、自分たちはこの程度だ。ところが神さま目からはそうではない。あなたがたはこれからさらに成長することができるし、成長してほしい。ひとりひとりも、また教会も。

先主日から降臨節に入り、教会の暦は新しい年度が始まりました。クリスマスを経て進んで行く新しい年度、わたしたちは成長していきます。神さまが成長させてくださいます。

「イエス・キリストの恵みと知識において、成長しなさい。」

わたしたちが期待されている成長とは、イエス・キリストの恵みをより深く経験すること、イエス・キリストを、より深く知ることです。

どこから、どのようにして知るのでしょうか？

まず第1は聖書からです。

聖書は物としてはまずは活字です。ところが活字である聖書が起き上がってくる。呼びかけてくる。聖書からわたしたちに流れ込む生きた言葉が、わたしたちを慰め、励まし、促すようになってくる。これがイエス・キリストの恵みにおいて成長することです。神さまが聖書を通して語りかけてくださるのを聞くようになる。しあわせなことです。そのように成長する。

第2は祈りをとおしてです。祈ることからイエス・キリストの恵みを知り、経験するようになる。

祈りは神さまとの対話です。神さまとの間の交流です。祈りにこめる気持ちにおいても、また祈る言葉においても成長したいのです。

ところで今回説教を準備していて気がついたことがあります。

新共同訳は「イエス・キリストの恵みと知識において、成長しなさい」と訳されていて、もちろんこれでいいのですが、ギリシア語を見ると「イエス・キリストの恵みと知識の中で、成長しなさい」とも訳すことができる。「恵みと知識の中で」。わたしたちはキリストの恵みの中に包まれている。わたしたちが考え努力する以前に、恵みがわたしたちを包んでいて、その恵みの中で成長する、と受け取ることができます。

ところで生まれつき目が見えない人がいました。ヨハネ福音書第9章のお話です。彼はイエスと出会い、イエスに言われたとおりにシロアムの池の水で目を洗ったところ、目が見えるようになりました。ところがそれが安息日で、仕事をしてはならない日に癒されたというので、ファリサイ派からその人は追及を受けます。いくら脅迫されてもその人は自分を癒してくれたイエスを絶対に悪いとは言わず、かえって擁護したために、「お前は全く罪の中に生まれたのに、我々に教えようというのか」（ヨ

ハネ 9:34) と不当にも非難されて追い出されてしまいました。追い出されたとはその場から追放されたというだけではなく、礼拝と生活をともにする共同体から追放されてしまったということです。

イエスはこの人のことを心配して探しておられました。そして彼を見つけられました。二人の再会の場面で、イエスとその人との間に信頼と深い心の交流が起こります。

「あなたは人の子を信じるか」

「主よ、その方はどんな人ですか。その方を信じたいのですが。」

「あなたは、もうその人を見ている。あなたと話しているのが、その人だ。」

「主よ、信じます」 9:35-38

その人は熱い思いをもってイエスへの信仰を告白するに至りました。

この人はこうして、1日の間に言わば「イエス・キリストの恵みと知識において、成長」したのですが、同時にそれ以前に、「イエス・キリストの恵みの中で、イエスの愛の中で」成長した。イエスが彼のことを知っていてくださったので、イエスに

知られている中で彼もイエスを知ることにおいて成長したのです。

今日は一つの節から二重のことをお話ししました。一つは、「イエス・キリストの恵みと知識において」成長する。わたしたちがイエス・キリストをよく知り（知識）、その恵みを経験する。そのように成長しなさい。成長したい。成長させてください。——言わばわたしたちの側^{がわ}に重点があります。

もう一つは、「イエス・キリストの恵みと知識の中で」成長する。わたしたちをイエス・キリストの恵みが包んでいる。主がわたしたちを知っていてくださる。わたしたちは恵みに包まれ、知られているのだから、成長しなさい。成長したい。成長させてください。重点はイエス・キリストの側にあります。

どちらが正しいというのではなくて、この言葉には両方が含まれているのです。

ところでそのように成長させられ、成長するとわたしたちはどうなるのでしょうか。

「愛する人たち！」

わたしたちもそのように人に呼びかける者となるのです。そのような言葉を実際に使うかどうかは別として、わたしの中に、

わたしたちの中にイエス・キリストの恵みが働き、愛が働いて、わたしたちを前向きに、積極的にさせていく。愛に動かされて生きるようになるのです。

祈りましょう。

神さま、わたしたちを成長させてください。イエス・キリストとその恵みを知ることにおいて成長させてください。キリストとその恵みの中で成長させてください。み子のみ名によってお願いいたします。アーメン